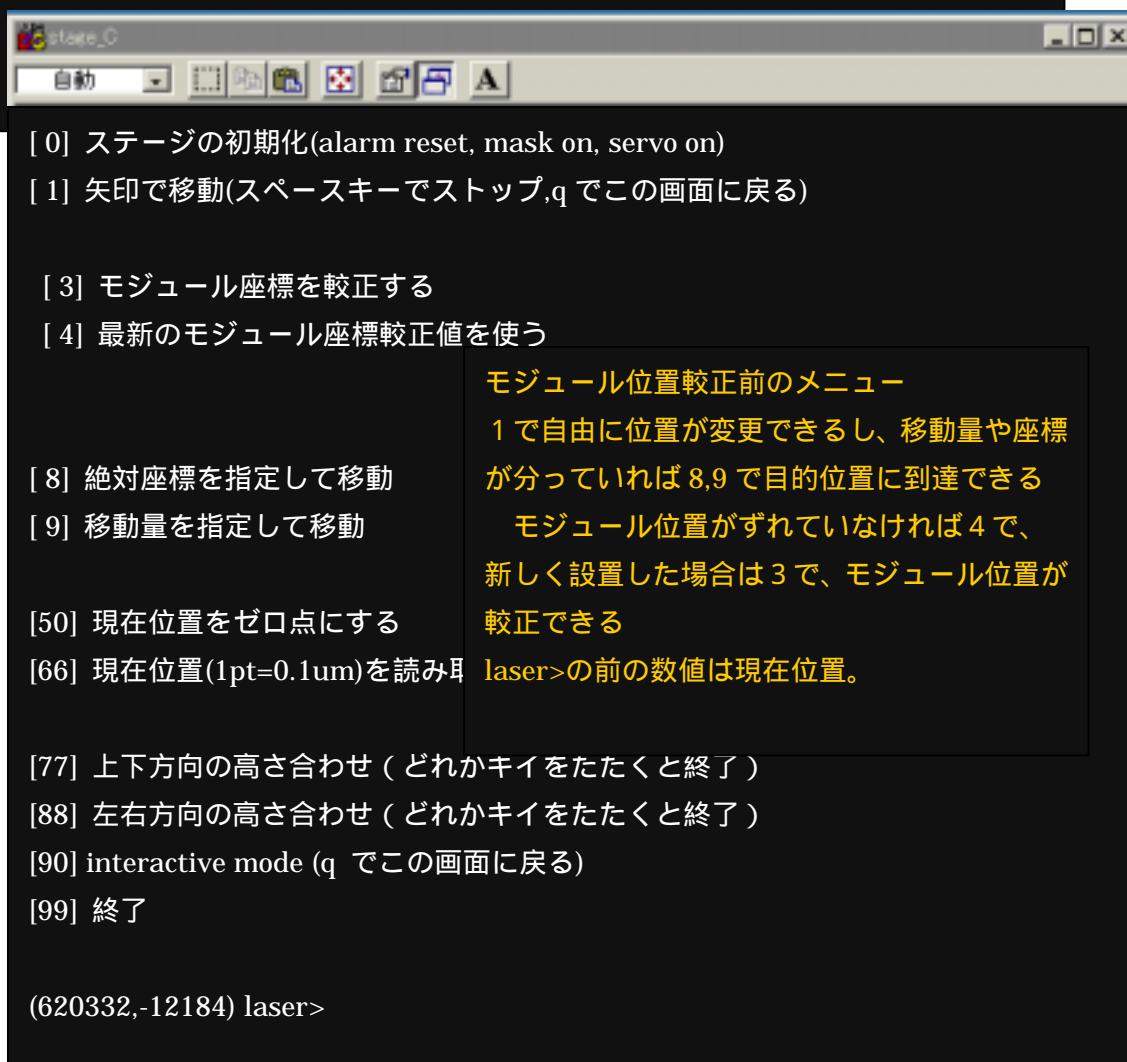
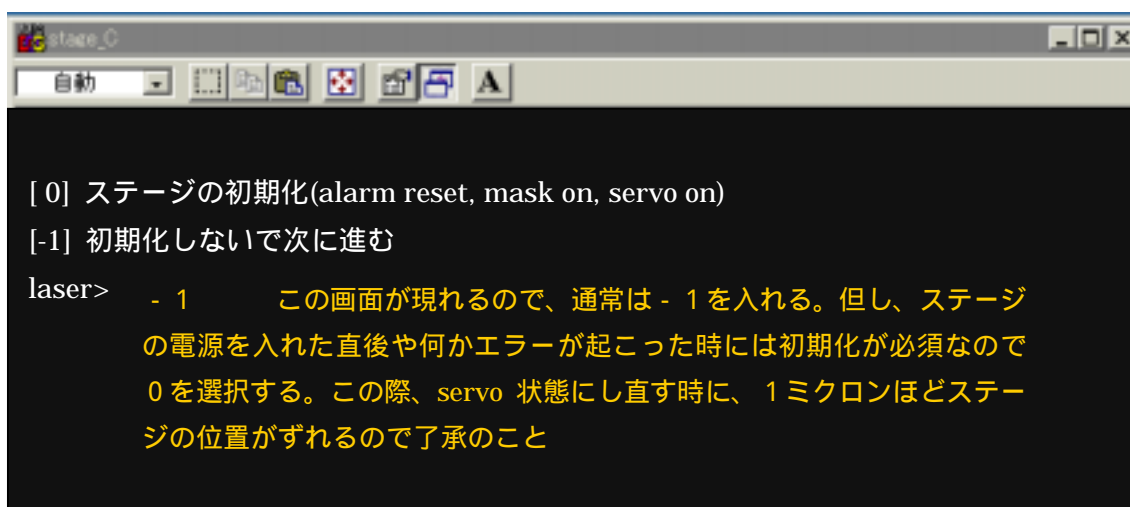
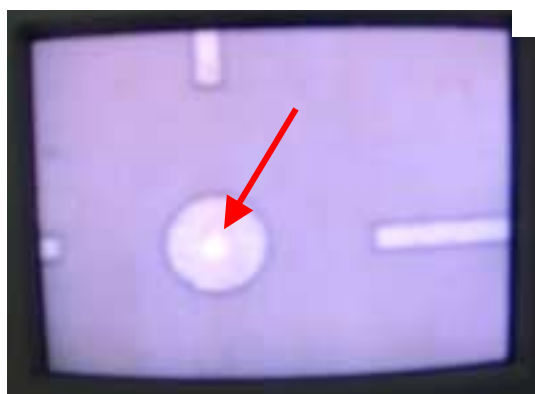
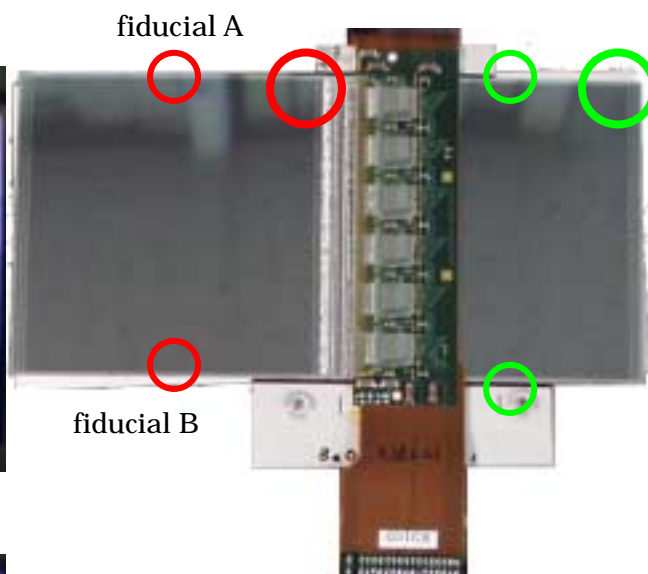
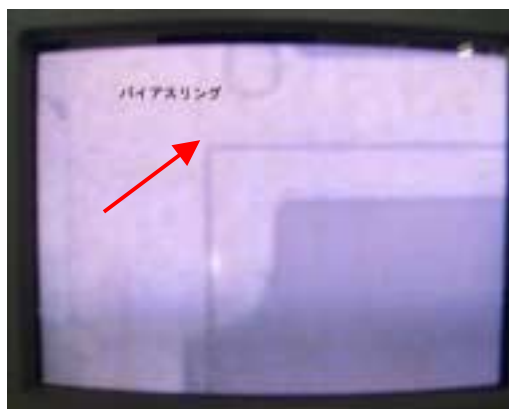


stage\_C.exe を実行すると、メインメニューが表示される。



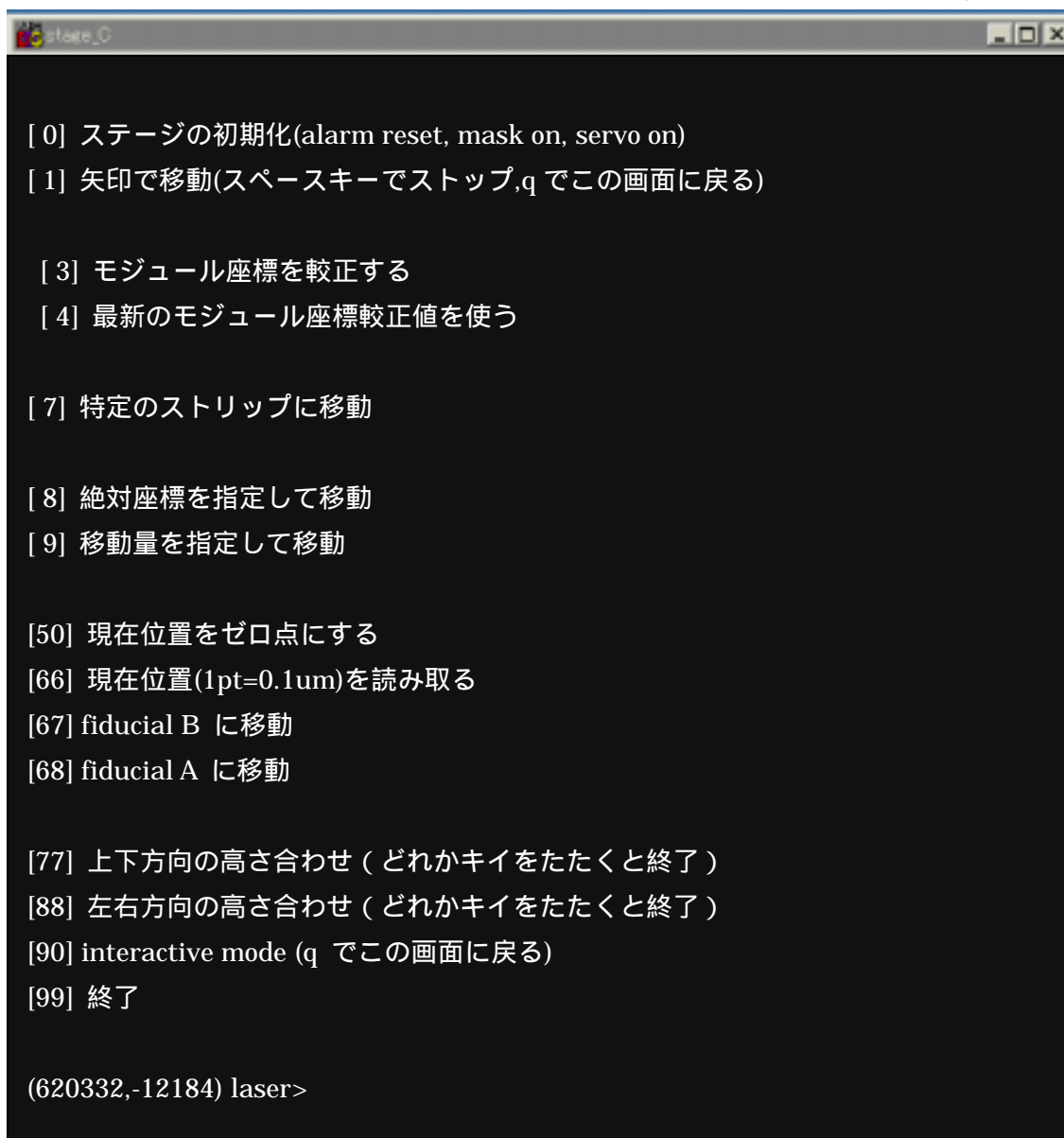
メニュー3のモジュール位置較正は3つのステップを踏む。メニューによりガイドされるのでそれに従う。



- 1) ディテクタ右上(画面では左上)のバイアスリング内のコーナーに合わせる(写真左上)。LINK 0では図の赤丸、LINK 1ではハイブリッド位置が左側になるので、右のディテクタ緑丸位置になる。
- 2) ディテクタ中央上の fiducial 近くに移動するので、矢印で移動し、中央に合わせる(写真左)。
- 3) ディテクタ中央下の fiducial 近くに移動するので、矢印で移動し、中央に合わせる。

以上のステップを踏むと、モジュール位置較正ファイルが作成されるので、モジュールを動かさなければ、メインメニュー4の「最新のモジュール座標較正值を使う」が有効である。但し、ステージの電源を切ったり、servo off にすると位置がずれる。

モジュール位置を校正すると、モジュールに特有ないくつかのメニューがでる。



```
stare_C
[ 0] ステージの初期化(alarm reset, mask on, servo on)
[ 1] 矢印で移動(スペースキーでストップ,q でこの画面に戻る)

[ 3] モジュール座標を校正する
[ 4] 最新のモジュール座標較正值を使う

[ 7] 特定のストリップに移動

[ 8] 絶対座標を指定して移動
[ 9] 移動量を指定して移動

[50] 現在位置をゼロ点にする
[66] 現在位置(1pt=0.1um)を読み取る
[67] fiducial B に移動
[68] fiducial A に移動

[77] 上下方向の高さ合わせ(どれかキイをたたくと終了)
[88] 左右方向の高さ合わせ(どれかキイをたたくと終了)
[90] interactive mode (q でこの画面に戻る)
[99] 終了

(620332,-12184) laser>
```

このうち、7により特定のストリップの特定の位置に移動できるので、root を介してストリップ移動に用いている。